

地域で活躍する子どもたち

～ 子ども参画型社会創造支援事業 ～

< 事業概要紹介・令和元年4～7月版 >

発行日：令和元年8月22日（木）

発行者：仙台市教育局

生涯学習支援センター

- 今年度も、市内各市民センターで「子ども参画型社会創造支援事業」がスタートしました。今回は、5～7月に訪問させていただいた5つの事業の様子をお伝えします。

* カップダ川で地域交流【青葉区】

< 広瀬市民センター・5/11（土） >



この日は、「カップダ川春まつり」でした。主催の「広瀬の底力」の皆さんからカップダ川のお話がありました。

「カップダ川ダンス」を披露するだけでなく、おまつりに来ている地域の方々に、ダンスのレクチャーも行いました。

子どもたちのダンスは地域に浸透しており、今年度もおまつりをはじめ様々なところからオファーがきています。

今後も、ダンスを通して“地域の魅力”を発信していく予定です。



* 青陵インパクト【青葉区】

< 青葉区中央市民センター・

6/21（木）、7/13（土） >



町内会役員の仕事体験中

昨年度完成した「まちづくりカードゲーム」。

6月は、北六番丁小学校において、小学5年生の子どもたちが実際にカードゲームを体験。

「町内会の活動」や「地域の一員としてできること」を考え、意見を述べ合いました。また、インパクトメンバーは、7月に「国見ヶ丘五丁目町内会」を訪問。「町内会活動の実際」や「役員としてのやりがい」について、町内会長よりお話を伺いました。



青葉区まちづくり推進課奈須野係長
(講話：町内会について)

メンバーは、「自分たちでできること」を、更に熟考しています。

* キッズもりあげ隊【宮城野区】

< 宮城野区中央市民センター（地区館）・7/20（土） >

第2回の活動は、近くの原町商店街で飾っていただく七夕飾り（吹き流し）を制作することからスタートしました（染色と折り紙）。短時間で、たくさんの吹き流しを完成させることができました。



話し合いは、学生アシスタントがファシリテートします。

その後、「原町夏まつり」における出し物について話し合いました。（これは、地域の方の熱い要望により、参加することになりました。キッズの活動の認知度の高さがうかがえます。）

「夏まつりにふさわしいもの」、「昨年度の経験を踏まえて…」など、建設的に話し合いが進められました。子どもたちは、夏まつりに参加することを通して、自分たちで原町を盛り上げよう！と、張り切っています。

* 学生アシスタント：大学生や専門学校生から成る。中には、ジュニアリーダーのOB・OGもいる職員（大人）と子どもをつなぎ役、子どもたちのサポート役を務める。



吹き流しの色付け

* にしがキッズ情報局 2019【太白区】

< 西多賀市民センター・6/23（土） >

これまで、「太白区の魅力」についてFMを使って発信していましたが、今年度は、西多賀地区に特化して情報を発信していきます。この地区の歴史等をまとめた冊子「西多賀まち物語」をもとに、まちあるきをする予定です。（編集委員や町内会の方々とつながりができそうです。）



鈴木館長より
「学校ではできない体験を」
※学ぶ→感じる→発信する

第1回となったこの日は、活動概要説明（館長）、オリエンテーション【組織づくり】（八巻先生）、アナウンス研修（宮田さん）を行いました。今後、更に研修を重ねながら、地域の魅力をたくさん発見していきます。

* 南光台をもっと元気に委員会【泉区】

< 南光台市民センター・6/15（土）、7/20（土） >

昨年度、「南光台シアター」として、この事業が始まりました。今年度は、「地域の人が喜びること・元気になること、小学生がワイワイできること」を考え、活動を進めています。

現在、子どもたちは南光台地区のよさや課題について出し合いながら、活動の具体化を進めています。また、「『まちが元気になる』とはどういうことなのか」ということを、じっくり考えています。



丹治館長より
「考えを巡らせていくことが大切。子どもたちの気持ちに寄り添い、じっくり話し合って、方向性や取り組む内容を決めたい。」

- 今後は、参加している子どもたちの「声」や事業に携わっている職員さんの「思い・やりがい」、そして、「事業展開の工夫」等をお伝えできればと考えております。
- 上記以外の事業の様子につきましては、次号でお伝えいたします。（担当：事業係 門脇）

